



柳澤 久子さん

(広戸)

「コカリナを聴いたことがありますか？」と聞くと「オカリナ？」と返ってくる。オカリナは土で造られた物。木で作ったオカリナと言う意味の「コカリナ」は日本に持ち込まれて15年程、元々は東欧ハンガリーに伝わっていた高さ8センチ、直径2.5センチの小さな楽器である。

三年程前、町の都市計画で町道の桜並木が無くなることを知り大変残念に思った。長年美しい花を楽しませてくれた桜の木を何とか形を変えて残したいと「コカリナ」製作を思いついた。沿線企業や多くの方々のご支援、ご協力をいただき製作に漕ぎつけ、一昨年、昨年と町内の六年生全員に

届けることができた。あの澄んだ音色を奏でる時、きつと「ふるさと御代田」を想い出してくれると信じて…。

一般のコカリナ愛好者も増え、コカリナを通して音楽の楽しさやすばらしさを感じてくれていることは大変嬉しい。

エコールみよた開館10年を迎えて、今コンサートを聴く機会がほとんど無くなったことは、大変残念でならない。

町のあちらこちらから生の演奏が流れてくる様な町になったら、どんなに素敵なことだろう。けっして音楽だけが素晴らしいと言いたいのではない。

子育ての基本は家族や回りの人から受ける愛情だが、そこに友人とのさまざまな交流、美しい自然、名作著書や名曲、名画にふれるなど子どもたちが成長過程で、どれだけたくさんの感動体験をしたかが「豊かな人間性」を育む様に思う。

時間もかかり、成果の見えにくい「心を育てる」環

境作りは、この町に住む私達人間の責任だとつくづく感じる。



雑

感

穏やかな年明けにほっとし、今年一年の運気を占うどんどこ焼きも、暖かい気候のなか、勢いよく火柱が上がり、良い年になることを願った。

翌日の14日は、日本列島を爆弾低気圧が猛威をふるい、近年にない積雪をもたらした。30センチメートル近く積もり、穏やかな年明けから一変し、あたり一面白銀の世界に。

各地では大量の雪に高速道路や電車などの交通網がマヒし、大混乱し、転倒や交通事故だけが人も続出した。

わが町の、道路の除雪を請けている方は、一晚中雪かきに追われたとのことで、頭が下がります。

20数年、冬道を走っていても、なかなか慣れず、ヒヤッとすることが多くあります。

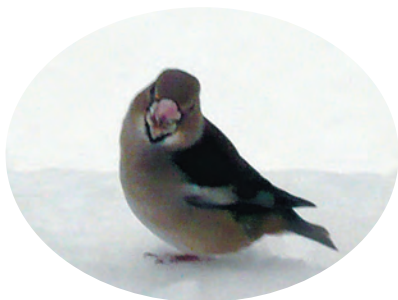
気持ちにゆとりを持って、過信せず寒い中除雪や融雪剤をまくなど、道路の安全

管理をして下さる方々の苦勞を思い、安全運転に心がけたいと思うこの大雪でした。

この大雪で野の鳥たちも餌の確保が難しく、ひまわりの種を求めてガラスの窓際に姿を現わし、心を和ませてくれます。

自然の豊かさを日々感じることができこの地は、まさに桃源郷です。今年も町民の皆様にとつて、すこやかな一年になりますようにお祈りいたします。

市村 千恵子



野鳥 (シメ)